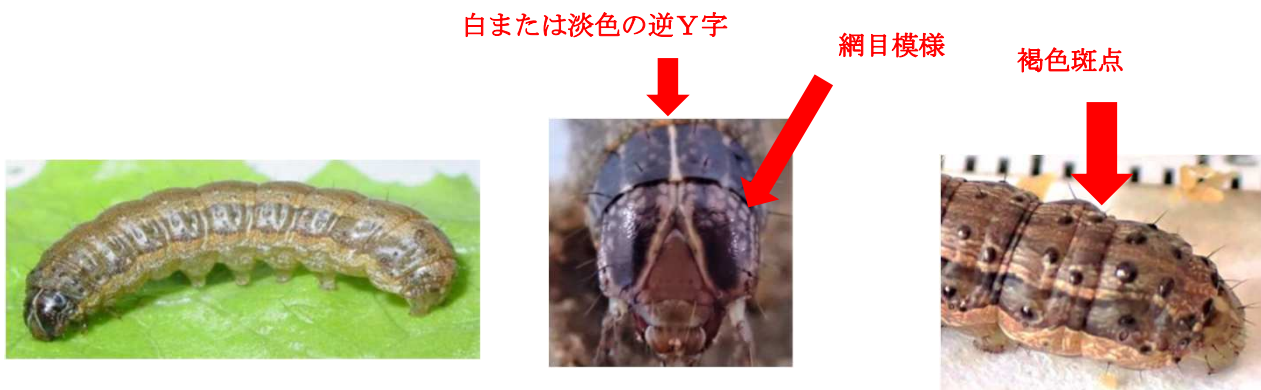


令和3年度以降の ツマジロクサヨトウの防除について

令和元年7月に国内で初めて発生が確認されたツマジロクサヨトウについては、使用できる農薬がなかったことから、植物防疫法第29条第1項の規定に基づき、都道府県の行う防除として、国が公表した農薬リストに掲載されている農薬を使用して防除を実施してきたところです。

今般、別紙のとおり、農薬の変更登録が行われたことから、本虫に対しては、植物防疫法第29条の規定に基づく防除を終了し、登録農薬による防除をお願いします。



ツマジロクサヨトウ幼虫（体長約40mm）

左：外観、中央：頭部正面の特徴、右：腹部後方の特徴

※農林水産省「ツマジロクサヨトウ」防除マニュアル本編（第1版）より抜粋
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/attach/pdf/tumajiro.html

ツマジロクサヨトウ登録農薬一覧(令和3年3月31日現在)

○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(19899, 22653, 22654, 23884)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	500倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000～1500倍	2回以内

○とうもろこし【とうもろこし(子実)、未成熟とうもろこし】

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(19899, 22653, 22654, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	500倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000～1500倍	2回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
フェンバレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

○未成熟とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
テトラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内
シアントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	4000倍	3回以内
クロチアニジン水溶剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	2000～4000倍	3回以内
エマメクチン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内

○ヤングコーン

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内

○さとうきび

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内
	無人航空機による散布	収穫30日前まで	2.4L/10a	50倍	3回以内
クロラントラニプロール・ジノテフラン水和剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内

○ソルガム(飼料用)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセフェート水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内